

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
430014				国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
		2	前期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
応用統計学	近山 英輔			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	必修	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

人間・社会が产生するデータのほとんどは不明瞭で確率的に変動するため、情報システムの利活用に、統計学的手法を用いた分析が有効になる場合がある。しかしながら、そのような分析結果の真の意味を理解するためには、統計学の理解を深める必要がある。この講義では、統計学の専門用語の意味と用法を深く学び、また応用課題を統計ソフトウェアで解くことでその目的の達成を目指す。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】講義の全体像
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 2 回

【授】統計的分析結果の例
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 3 回

【授】基本統計量
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 4 回

【授】離散確率変数と連続確率変数
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 5 回

【授】離散確率分布
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 6 回

【授】連続確率分布(1)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 7 回

【授】連続確率分布(2)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 8 回

【授】統計学的仮説検定(1)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 9 回

【授】統計学的仮説検定(2)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 10 回

【授】統計学的仮説検定(3)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 11 回

【授】統計学的仮説検定(4)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 12 回

【授】統計ソフトウェア:検定(1)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 13 回

【授】統計ソフトウェア:検定(2)
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 14 回

【授】統計ソフトウェア:クラスター分析
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 15 回

【授】統計ソフトウェア:主成分分析
【前・後】配布資料などの予習復習に4時間。

第 16 回

【授】定期試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	40	40					
小テスト・授業内レポート	10	10					
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

平均点などをポータルにて公表する。

教科書参考書

授業毎に、印刷用配布資料をポータルに登録する場合があります。必ず各自印刷して持ってきてください。

受講に当たっての留意事項

科目「統計学」→「情報システム演習」B分野→「応用統計学」は統計スキルを段階的に身に付けるために配置されている。

学習到達目標

- ・簡単なデータについて標本平均と不偏標準偏差を手計算できる(10%)
- ・確率変数とは何か、その例について説明できる(5%)
- ・離散確率変数、連続確率変数とは何か、それらの違いについて説明できる(5%)
- ・Σ等の基本的数学の記号について説明できる(5%)
- ・離散確率分布、連続確率分布とは何か、それらの違いについて説明できる(10%)
- ・正規分布とは何かについて説明できる(10%)
- ・その他の確率分布の1例について説明できる(5%)
- ・帰無仮説、対立仮説について説明できる(10%)
- ・第1種、第2種の過誤について説明できる(5%)
- ・棄却について説明できる(5%)
- ・簡単なデータについて平均値の差の検定を手計算で行うことができる(10%)
- ・統計ソフトウェアを使用して平均値の差の検定ができる(10%)
- ・統計ソフトウェアを使用してクラスター分析ができる(5%)
- ・統計ソフトウェアを使用して主成分分析ができる(5%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標: H

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習